

学校長御留書

加古川市立志方東小学校
令和5年度
学校便り夏休み特別号
第5号
R5.8.1発行

「教師は最大の教育環境である」清水展人さん(日本LGBT協会)



7月31日(月)9時30分より、志方小学校区にある志方会館で令和5年度志方中学校区ユニット人権研修会を、職場人権研修と教育課題解決研修とを兼ねて開催しました。講師として清水展人さん(日本LGBT協会)をお招きし、テーマ「男らしく、女らしくからその子らしく生きる～教職員の先生に知っておいてもらいたい性の多様性～」でご講演いただきました。8年ほど前にも講演を聞いたことがあり、その時に「学校の先生方にこそ話したい、理解してほしい」とおっしゃっていたことが

が印象的で、誠実に確実に活動を継続されていることに感服いたしました。下記は概要です。

性の多様性について理解する指標(SOGIESC ソジエスク)という4つの要素(グラデーション)

目に見えない

→人権課題

目に見える

→多様性

- ・性的指向…恋愛感情や性的な関心・興味が主にどの性別に向いているか
- ・性自認…自分がどのような性別であるか、またはないかについての認識
- ・性表現…服装・髪型・しぐさ・しゃべり方などの外部的な表現
- ・性的特徴…染色体・ホルモン値・筋肉量・体毛など、生物学的な性別を示す身体的特徴・行動特性

見た目だけではわからない 相談の有無に関わらず、決めつけないことが大切

安心して語れる 地域づくり 学校・職場づくりができていますか？

大切なのは、気づきにくくだけであり、側にいるという感覚や意識をもつこと



学校でできること

○研修の機会を確保し、学校全体で取り組むこと

○多様性を認め合える環境をつくる

○児童生徒の学習の機会を確保する

※教職員としての姿勢 「教師は最大の教育環境である」

具体的な方法論が大事なのではない。いろいろな子どもがおり、さまざまな状況がある。

一人一人、何に困っているのか？ ← 寄り添う(安心感を与える、信頼される)

◎悩み、迷い続けた清水さんを救い、人生を変えたパートナーの言葉

「様々な経験があったから『今』があるんじゃない？ 障がいも強みでしょ？」

8月20日(日)14時開演(13時半開場)
加古川市人権フォーラム2023(市民会館)
清水展人さんが講演されます。(入場無料)

清水展人さん公式ホームページ
<https://www.hiroto-shimizu.com/>

